

センセイコール（４）

文字が変なところに

6) 文字を入力しようとしたら、あるいは、文字入力練習ソフトで練習中に変なところに文字（かな）が出てきた

パソコン室の生徒機で使っている日本語変換システムは、通常ATOKスマイルなので、日本語を入力するときには、まず青い字（変換前の文字）が表示されます。この青い字が、文字を入力しようとしているところではなく、画面の下の方など、とんでもないところに出てくるのが、このセンセイコールです。

文字入力では、「文字入力カーソル」と言われる点滅する縦棒（縦書きでは横棒）の位置に、入力した文字が「挟まり」ます。ここで、挟まる、と書いたのは、一般的にカーソル位置で入力した文字は、「確定（Enterキーを押す）」した時点で、その位置に収まるからです。文末とは限りません。

ですから、普通に文を書いているときでも、続きを書こうとして、別のところに字が挟まってしまったときにも、このセンセイコールは起こります。それは、縦棒の位置をよく見ないで「続き」を書こうとしてしまったからです。手元だけを見て画面を見ずに文字入力をしていると、よくこういうことが起こります。

この「変なところに青い文字が出てくる」センセイコールは、文字を入力したい場所が、パソコンから見て「わからない」場合に起こります。

とりえず、Escキーで入力をキャンセルしてから、

○入力したい場所（欄：フィールド）に縦棒がない（保存の際のファイル名など）

フィールドの中を、マウスでクリックして、縦棒を出す

○文字入力練習のソフトのとき

ソフトがアクティブではないか、入力を半角でしなくてはならないのに、全角になっているためで、前者は、タイトルバー（画面の一番上）の色が薄いので、タイトルバーをクリックしてアクティブ（タイトルバーの色を濃く）にする。後者の場合は、文字入力のツールバーの左端、「あ」の色が濃くなっていたら、キーボードの「半角／全角：漢字」ボタンを押して薄く（半角入力：日本語入力オフ）にする。

文字入力に関しては特に、「画面をよく見てから入力しよう」の一言です。